



文責 岩根小校長 佐藤勇人

思

いやりは学校生活の原動力

9月に入りました。本来ですと、少しづつ秋の気配を感じる時期ですが、いまだ残暑が厳しい毎日です。8月から台風の接近あるいは上陸が多く見られるようになり、8月30日は臨時休校いたしました。児童の安全にも関わることですので、これからも気象の変化には十分に注意していきたいと思えます。保護者のみなさんに児童の送迎をお願いする場合もあるかもしれませんが、その際はご協力をよろしくお願いいたします。

さて、詩人宮澤章二氏（1919～2005年）をご存じでしょうか。作品の中に「行為の意味」という詩があります。一部を紹介

します。

確かに「こころ」はだれにも見えないけれど「こころづかい」は見えるのだ。それは人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の「思い」は見えないけれど「思いやり」はだれにも見える。それも人に対する積極的な行為だから。あたたかい心があたたかい行為になり、やさしい思いがやさしい行為になる。時「心」も「思い」も初めて美しく生きる……それは人が人として生きることだ

人は一人では生きていくことはできません。人は互いに支え、支えられながら社会の中で生きていきます。そして、「思いやり」というあたたかい心に包まれて生きていくのです。社会の中で出会う様々な人々との関わりの中で互いに助け合い、支えられながら生きていくのです。

昨今、世間ではいじめ問題が話題となり深刻化しています。（学校だけでなく、色々な所で問題になっています。）

学校も一つの社会ですから様々なことが起こります。しかし、そのときこそ他人へのちよつとした思いやりやあたたかい心が非常に重要な意味をもつのだと思います。たとえささやかな行為や思いであ

ったとしても、そのことが相手の心に響くとき、そのぬくもりが周囲に波及し、よりよい学校生活を築く原動力になるでしょう。地域の皆様、保護者の皆様とともにあたたかい心のある学校づくりをしてまいりたいと思っております。皆様には2学期も引き続き岩根小へのご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

防

防災教育出前講座を行いました（5年）



映像を見ながら土砂災害について勉強しました

8月26日（金）の3・4校時目に、5年生で防災教育出前講座（理科の時間）を行いました。講師の先生は二本松土木事務所の寺島さんと佐藤さんです。災害から命を守るために、どんな自然災害があるのか、災害を防ぐためにどんな工夫がなされている

るのか、わたしたちにできることは何か等を映像やお話、模型等を使用して分かりやすく教えていただきました。貴重

な学習をする



砂防ダムの仕組みを模型で確かめました

先生方お忙しいところおいでいただき、本当にありがとうございます。ございました。



本宮市のハザードマップについても学びました

9月のめあて

◎生活

落ち着いた生活をしよう

◎保健

生活のリズムを整えよう

